



遊びに来てね（高家住民公園）

# 議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第113号

平成20年4月25日

## 現実維持型予算

20年度予算 2p

## 風力発電で地域振興を

一般質問 6p

## 防災意識を

委員会レポート 13p



【発行】日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】議会広報特別委員会 TEL (0738)63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

# 現実維持型予算

平成20年度予算

# さらに加速の行財政改革

一般会計	33億8,463万円
特別会計	16億1,940万円
予算総額	50億 403万円

## 水道事業会計

収益的収入	1億8,518万円
収益的支出	2億1,711万円
資本的収入	2,328万円
資本的支出	1億4,190万円

3月定例会は3月11日から11日間の会期で開催した。町長の施政方針を受けて提案された同意1件、一般会計をはじめ、議案14件、内6件の特別会計、水道事業会計。平成19年度報告1件、一般会計補正予算など議案6件、内特別会計補正予算3件、水道事業会計について、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決し21日に閉会した。

## 一般会計予算

### 歳入予算は

三位一体改革等による、地方交付税の削減それにともない、臨時財政対策債の減額、本年度から創設された地方再生対策費による交付税措置はあるものの、依然として厳しい状況にある。

行財政改革をさらに加速させる中で、財政調整基金3億6千万円を取り崩した予算である。

### 歳出予算は

地震津波対策、少子化対策の一環として学童保育などの事業実施があるが、投資的経費である普通建設費の大幅縮小、公債費、繰出金の増額の一方、人件費などの消費的経費のウエートが大きくなってきている中、前年度比6.3%の減額予算である。

# 時代のニーズに即応

## AED設置、緊急地震速報サービス開始

### 一般会計

**問** 学校給食代、食材費1食分20円値上げの理由は。

**教育長** 最近の燃料費と物価の高騰によるものである。

**問** AED（自動体外式除細動器）の借り上げ総台数と1台あたりの単価は。

**総務政策課長** 総台数15台で、5年間のリースが1台当たり47万8800円となる。

**問** 保育所でのマニュアルはできているか。

**住民福祉課長** AEDを設置する場合、保育士等が研修を受けなければならない。

**問** 各小・中学校、保育所での緊急地震速報サービスはどのように運用されるのか。

**総務政策課長** 各施設に親機を1台、各教室へ予



安全なプールに

区長さんを通じて配布していたが、本年4月からは外部へ委託発注する。

**問** 本年度15名を予定している学童保育の財源内訳と委託料712万4千円の内容は。

**教育課長** 国の補助金66万円、家族の負担金161万7千円、残り567万7千円が一般財源となる。

**問** 本年度は委託料として149万1千円の増額予算となっているがどのようになるのか。

**総務政策課長** 従来は各

**産業建設課長** 町内10m以上の橋梁11橋について診断する委託料である。

**問** 自主防災組織の資機材は、どの地区へ予定しているのか。

**総務政策課長** 原谷と小坂地区である。

**問** 内原小学校のプール改修工事は、今までの総合的な解決に繋がる工事内容か。

**教育課長** 本体、ろ過器等は、ほとんど問題なくプールとプールサイドにひび割れがあり、これを全面的に塩化シートと人工芝で張る工事である。

**問** 農業振興費については、事業費も削減され新たな取り組みもないが、振興対策は予算的にどこに現れているのか。

**参事(産業振興担当)** 農業振興については、非常に難しいものがあるが、各地域からの要望も聞き新規事業等があれば、地元と十分協議しながら取り組む。

機を設置し緊急速報を受けられる体制を整える。

**問** 文書広報費、昨年は賃金として64万1千円、

本年度は委託料として149万1千円の増額予算となっているがどのようになるのか。

**総務政策課長** 従来は各

材派遣会社への委託費である。

**問** 橋梁長寿命化修繕調査委託料140万円とは、

# 特別会計

## 後期高齢者医療

本年4月から75歳以上の方は、後期高齢者医療制度に移行する。予算額は1億3907万4千円とする。

**問** 保険料の特別徴収は、何月の年金から天引きされるのか。

**住民福祉課長** 4月から天引きとなる。

**問** 県の広域連合では保険料の徴収率98%を見込み、徴収ができなかった場合は、市町村で補てんをしてもらうと説明があったが、どうか。

**住民福祉課長** 98%徴収は、大変ハードルが高いが、実施してみなければわからない。

### 固定資産評価委員に

## 津村 安雄 氏

固定資産評価審査委員会委員の選任について、町長の専決により、津村 安雄氏（下志賀）を選任したことの承認を求められ、全員賛成で同意した。



# 条例制定

## 日高町後期高齢者医療に関する条例

本年4月より開始される後期高齢者医療制度において、市町村がおこなわなければならない医療に関する受付および徴収事務等に関する条例の制定。

**問** 日高町が保険料を徴収する被保険者の人数は。

**答** 1219名の内、保険料の徴収が延期される

**住民福祉課長** 特別徴収（年金から天引き）の方が888名、普通徴収（納付書による納付）の方が331名で、被保険者合計で1219名である。

**問** 74歳から75歳に途中で切り替えとなる中で、国保の税務課と住民福祉課との関係はどうか。

被扶養者であった人の人数は。  
**住民福祉課長** 徴収が延期される人は、その内391名である。

**住民福祉課長** 双方の担当で相談しながら対応していく。  
また切り替えについては、75歳になる前月に案内を送付する。

## ケーブルテレビで議会放映を始めました。

3月議会より、一般質問の録画放映を始めました。3月議会では7議員が一般質問をおこない、その模様を3月28日から8日間ZTV行政チャンネルで放映しました。今回の放映では、音声など一部不手際があり、お聞き苦しい点があったことをお詫び申し上げます。



今後はこのようなことのないよう努め、6月議会以降も行政チャンネルで録画放映をおこなってまいります。

# 水道料金 16%値上げ

19年9月議会で提案され、上下水道対策特別委員会に付託、審査していた水道料金を30%値上げする条例案は、16%の値上げに修正し、本会議に提案、可決した。

上下水道対策特別委員会委員長報告  
提案された条例案は平均30%の値上げをするもので、急激な住民負担増となることから、6回にわたり慎重に審議を重ねた。  
委員会では、値上げ率を抑えるため、  
① 消火栓の管理費として、一般会計から水道会計へ繰り入れる。  
② 簡易水道の事業債を早期に繰上償還し、利払いを軽減する。  
③ 加入者や使用量の上昇率を見込む。  
などを見込んだ試算の提出を求めた上で、検討した結果、今後の運営に支障をきたさないと考えられる値上げ幅16%とする修正案を全委員が賛成して、可決すべきものとした。

水道料金（メーター使用料込み）の改正例

	現在の料金	新しい料金
基本料金（10㎡以下）	1,453円	1,674円
20㎡使用の場合	3,063円	3,544円
30㎡ 〃	4,903円	5,679円
40㎡ 〃	7,443円	8,609円
50㎡ 〃	10,443円	12,069円



本年度で一部区間完成予定（高家西線）

## 19年度関係議案

### 一般会計補正予算

既定の予算総額から556万9千円を減額し、37億1620万7千円とする。

#### 主な内容

水道事業会計への繰り出しや国保日高病院負担金の増額があるが、障害者自立支援医療費、老人福祉費、電算処理委託料、地籍調査委託料などの減額等。

#### 20年度へ繰り越した事業

町道改良事業	6883万8千円
高家西線	21年3月末完了予定
地域防災計画策定事業	243万4千円
	20年8月末完了予定

**問** 繰越明許費、安易に繰り越しはしていないか、それぞれ事業の繰り越し理由は。  
**産業建設課長** 計画用地買収地が御坊市の圏域で地籍調査の未着手地であったため、境界確定に時間を要し、年度内完成が困難となり、用地買収費、工事費、全てを繰り越した。  
**総務政策課長** 和歌山県地域防災計画の修正、被災者生活再建支援法の改正、福祉避難所の指定等、随時修正があり、やむなく一部を繰り越した。

# 未来をきずく

## Q & A いっぽん質問

**問** 現在、日高町には230軒の独居老人（65歳以上）宅がおられるが、統計上20年後には倍にな

**町長** 農協は各イベントの開催、果樹、農作物の出荷情報、営農情報に検討したいとの意向である。

**問** ケーブルテレビが開局して2年が経過し、普及率も70%を超え、今回からは議会的一般質問も放送され充実してきた。しかし第3セクター方式での事業展開から考えると、地域で課題となっている産業振興に利用出来ないか。



### ケーブルテレビ 新たな取り組みについて

清水 正巳 議員

町長 積極的に活用する

と言われている。今の独居老人緊急時支援システムに代わり、ケーブルテレビ回線を利用したシステムがあるがどのように考えているか。

**町長** ケーブルテレビ回線を活用し、安否確認ボタンを押すとか、テレビのスイッチを入れたり、家屋内センサーを設置することにより、安否通報が行える高齢者支援システムがある、費用対効果を考慮しながら検討していきたい。

**問** その他提案として、水道メーター自動検針システムがあるかどうか。

**町長** 回線を利用するシステムで使用量、漏水はもちろん、水を使



さらにシステムアップを期待して

か。

後団体独自で保管していただく事は考えているか。

**問** 団体の預かり通帳数が84件と非常に多いが、今後団体独自で保管していただく事は考えているか。

**町長** 公務員としてあってはならない不祥事であり、関係各位に深くお詫び申し上げます。

発生した。担当者が自由に出し入れできた結果と考えるが。

### 公金、今後の扱いについて

**問** 町発足以来初めて団体の預かり金を流用した、公金横領事件が

**町長** 団体の関係者よく相談し、できるだけ自分で保管してもらえよう検討する。

**問** 今後のチェック体制をどのように考えているか。

**町長** 出納室長が通帳を保管し、通帳の届出印鑑を主幹が管理、担当課長が確認検査後、署名および押印する等、周知徹底したい。

**問** 今回の事件は、全体の奉仕者としての町職員が町民の信頼を裏切った大変情けない事件であった。

2度とこのような事件を起こさないよう体制を強化し綱紀粛正、並びに信頼回復に努め、いい町づくりを専念していただきたい。

**町長** 事件の調査結果書が出次第、私はじめ関係者に対して厳重な処分をしたいと思っている。今後全職員一丸となって取り組みますので、ご理解ご協力お願い申し上げます。



議員 玉置 正之

# 今後の小中学校の対応は 教育長 魅力ある学校づくりをする



魅力ある日高中学校に

**問** 全国学力テストの正答率が公表されたが、和歌山県および当町の小中学校の正答率はどうか。  
**教育長** 個々の市町村名・学校名を明らかに公表はおこなわないこと。

これが文部科学省の見解である。  
**問** 和歌山県の正答率を調べると、47都道府県中43番目であった。  
当町の学校の正答率に

ついて、今後教育委員会で考えるべき問題ではないか。  
**教育長** 各学校で、どの部分が高い低いかを分析して、学校教育の中で取り組んでいく。

名の2学級である。  
**問** 教職員は何名減らされるのか。  
**教育長** 2名減になる。  
**問** 伝統ある日高中学校

を継承していくには、創意工夫をこらした学校づくりをしていかなければと思うが。  
**教育長** 小中学校を連携して魅力・特徴ある学校づくりをしていく。

## 給食の安全性は

**問** 中国産商品は使用していないか。  
**町長** 各保育所を調べたが、中国産の野菜、冷凍食品は使用していない。

**教育長** 登録業者と話し合い、中国産商品を一切使用しないように業者に伝えている。

**問** 仕入業者数は。  
**町長** 保育所は町内業者6業者、町外業者1業者である。

**教育長** 登録業者は24業者で、うち町内業者は2業者である。

**問** 検食をおこなっているか。  
**教育長** 各学校長が教頭

がおこなっている。

**問** 中高一貫校への進学者は何名か。  
**教育長** 3

小学校から中学校に入学者の予定者が83名で、日高高校付属中学校へは12名、私立中学校へ1名、計13名が日高中学校に入学者ではない予定。  
**問** 中学校の学級数は。  
**教育長** 1

年生70名の2学級、2年生は75名の3学級、3年生は65

**問** 抵抗力の弱い保育所の子どものために、安全、安心を第一に日々、最大限の注意をしてもらいたい。  
**町長** 事故がおこっては遅いので、徹底していく。

**問** 担当職員は、現場に向いているか。  
**教育課長** 1週間に1回程度行っている。

# 温泉館の柔軟な活用を

金崎 昭仁 議員

## 町長 条例の改正はない



町民利用者数をもっと

町民の方々の利用は、町民の方々の利用率は。年間8万人台の利用者がある温泉館だが、町民の方々の利用率は20%くらい。

また回数券を設定していること等から条例・規則の改正は今のところ考え

町長 検討委員

会の提言に町内の利用率を30%、町外の利用率を70%にすることが望ましいとされているが、実行するためには無料券・優待券・休憩室の有効利用等、様々な取り組みをしないと利用者が増えないのではないかと。

町長 公平性の観点から、管理上、スペース的な問題

町長 地域活性化や住民福祉の増進に資する目的で設置したものである。安易に目的を変えることはしない。

町長 温泉館を開設したことで、町にとつての

町民の方々は、温泉館の赤字のことを聞くたびに不安と不満が言葉に出ている。少なくとも30%の利用を町内の方々にしたい。

結果として福祉目的、観光面においても達成すると思つた。

町長 地域の活性化や住民福祉の増進に資する目的で設置したものである。安易に目的を変えることはしない。

町長 温泉館を開設したことで、町にとつての



効果は。町長 地域の均衡ある発展を図る上で、新たな人の流れ、車の流れが創出することができ、道路改良の要望や各種計画を立てる上で、存在意識は大きく観光振興はもとより、地域の活性化に大きな効果をもたらしている。

## 元気なまちに

町長 町長

町長 町長

町長 町長



町長 町長

町長 町長

町長 町長

町長 町長

町長 町長

町長 町長





議員 天満 滋明

# 風力発電で地域振興 町長 全力で取り組む

**問** 風力発電事業が誘致できれば税収の少ない当町では、税収が増え公平な住民サービスに役立てることができる。

また、地域の同意なくして実現は不可能である。そこで誘

致促進に尽力した地域に対し、その地域が事業をおこなう際、町が手助けをしてはどうか。  
**町長** 協力いただいた関係者の要望を尊重し、有効な補助事業を探し前向きに検討する。

**問** 地域では道路・水路の改良工事、また集会所等の改築を計画している地域もあるかと思う。

この風力発電事業が実現できなければ、これに代わる何千万もの税収が入る見込みは無いと思う。それらのことを考え、

くどいようだがもう一度確信の持てる答弁をお願いしたい。

**町長** 地元から要望があれば、全力を挙げて取り組んでいく。



自然エネルギーを

## 「自治体財政健全化法」で 日高町の数値は

**問** 北海道夕張市のような財政破綻を未然に防止するため、平成19年6月に成立した「自治体財政健全化法」の新たな指標の中で、今回は「実質赤字比率」、「連結実績赤字比率」、「実質公債費比率」について18年度決算を基にした試算で示していた。

**町長** 新法下では判定基準となる4指標のうちの1つでも基準を超えた場合には自動的に「財政早期健全化団体」になる。当町の場合、「実質赤字比率」は黒字の9.9%、次に「連結実績赤字比率」は黒字の18.8%、最後は「実質公債費比率」は11.2%で、どの数値も基準以下で全く問題はない。

**問** この「自治体財政健全化法」は地方自治体から見れば、一種の締め付けのように感じられるが、

財政を担当する者としては、今まで以上にシビアに予算編成に当たると考えられるが、どのような考えを持っているか。  
**総務政策課長** 当町においては、平成17年度に合併を断念し、その段階から財政健全化計画を立てて備えていたので、先ほど町長が答えたように今のところ全く問題ない数字となっている。またいずれの数値も県下30市町村の中で上から10位以内に入っている。ただ、この数字に関しては18年度決算で試算し、いま現在のことを表しているのでも今後努力していきたい。

# 止に定置網のようなものを

山本 善啓 議員

## 町長 勉強したい



対して補助を行っている。日高町においても活用したい。

また、猟友会メンバーも高齢化とともに減少している現状であり各地区から要望があれば説明会をおこないたい。

また、狩猟者になっていただける方を各地区に働きかけをおこない、行政と農業者が一体となって取り組んでいく。

また、知事にも直接要望をしている。

県補助事業では平成17年度約68万・18年度約30万・19年度約91万、町単独事業では17年度約76万・18年度約83万・19年度約47万。

捕獲については猟友会員の方が、過去3年間で猪157頭・猿108匹・鹿5頭・狸等中型獣種は82匹の捕獲である。

町当局の対策も成果が上がっていないと思うが今日までの対策と、被害はどうなっているか。

被害額は平成17年度1970万円・18年度1446万円・19年度は現時点で1665万円であり、水稻や野菜類、また柑橘類の被害が出ている。

防止策として電気柵・トタン柵・ネットなどに



かわいい顔をしているが？

## 納税者の争奪合戦になる

ふるさと納税がスタートすれば当町への恩恵はどの程度予想できるか。

また、各自自治体で、争奪合戦になると思うが方法は考えているのか。

平成20年度スタートを目指し、現在国会で審議中である。

現段階で恩恵を推測するのは難しい。

日高町で生まれ育って、学習し、立派に働いておられる方は、多くおられると思う。これは非常に期待される税制であり、税収増による行政サービスの充実につながるものと思うが、制度が出来た暁には取り組むのか。

質問のとおりであり、21年度に向けて、関係者を寄せて協議する。また、PRも積極的に大いにやっていく。



西岡 佳奈子 議員

# 派遣保育士 直接雇用を

町長 今までどおり派遣で



町が雇用責任を

**問** 保育所への派遣労働者の受け入れは、問題がある。  
臨時保育士の労働条件を改善し、直接雇用すべきだと思いませんか。  
**町長** 規制緩和等が進む中、今の保育業務も派遣

期間の制限がない業務に変わろうとしている。  
しかし、このまま、3年の期間を過ぎる平成21年度中に法律が変わらなければ、子どもや保護者に不利益にならないように考えていきたい。

**問** 日本の経済界のトップ、日本経団連の御手洗会長は、自身の会社（キヤノン）が偽装請負を指摘されるなど違法状態にありながら、「法律に無理がある。」「派遣法を見直してもらいたい。」という発言をしている。  
町長の答弁も同じ発想であり、そういう答弁は許されない。もう一度答えを。  
**町長** 先ほど答弁したとおりである。

**問** 国会審議の中で福田首相は、「労働者派遣制度というのは、臨時的、一時的な労働力の需給調整制度として位置づけられている」と答弁、厚生労働大臣は「派遣受け入れ期間の制限が常用雇用の代替にしないことを担保している」と

答弁している。  
現在の保育所での派遣の受け入れは、政府のいう「派遣制度における労働者」という考え方に反するのでは。

**町長** 今の方向で取り組んでいきたい。

**問** 直接雇用をすべき。  
**町長** 今までどおり派遣でやりたい。

## 肝炎の検査、相談体制は

**問** C型、B型などウイルス性肝炎の検査方法は、

**住民福祉課長** 40歳の人

は町の特定健診時に、一定の条件（感染リスクが高い）に該当する人は医療機関で、その他、20歳以上の希望者は保健所で検査が受けられる。

**問** 政府が肝炎ウイルス検査を勧めている対象者の中に、予防接種によって感染した可能性のある人が含まれていない。  
かつて、学校などでの集団接種で注射針の使い回しが一般的におこなわれていたが、そのことも肝炎ウイルス感染の要因になりうることも含めて

広報を。

**住民福祉課長** そのことも含めて広報に務める。

**問** インターフェロン治療への助成が始まると思うが、その中身は。

**住民福祉課長** 県からの詳細な連絡はまだだが、今年4月より5年間実施予定で、診断書を添えて保健所へ申請後、県において補助決定がされる。一定額の自己負担も必要という事である。

**問** 町として十分な周知と相談体制を。

**町長** 大事な事であり、全力を挙げて取り組む。

松本 秀司 議員



# 県道改良の進捗状況は 町長 平成21年度に供用開始を目指す



事故が多発している交差点

**問** 県道谷口三叉路の今後の進捗状況はどうか。  
**町長** 平成19年度で用地買収・物件補償の完了、谷口橋の下部工事を発注

した。  
橋の架け替えが必要となるため、現在迂回路の仮設道を施工しているところである。

**問** 安全対策は大丈夫か。  
**町長** 過去に事故も多く、非常に危険な交差点なので、通行の安全に万全を期する。

**問** 町としても高齢化社会を迎える中、また財政的に厳しい折、お金を掛けないで、簡単にすぐ始

平成21年度末に供用開始できるよつ、全力を挙げて働き掛ける。

**問** 和田方面から来ると、直角に交わるということだが、信号機設置の考えはあるのか。  
**町長** 県と御坊署の間で設置に向け、協議しているところである。

**問** 設置する必要があるとなれば、それで結構だが、十分検討していただきたい。  
**町長** 十分検討する。

**問** 工事中の安全対策は大丈夫か。  
**町長** 過去に事故も多く、非常に危険な交差点なので、通行の安全に万全を期する。

**問** 町ポランティアの方から、プルタブ（フルトップ）をドラム缶1本分集めたら、車いす1台購入でき、今細々と集めているという話を聞いた。

地方紙にも川辺西小学校の児童が、300kg分のプルタブを3年掛け集め、車いす2台を贈ったと載っていた。  
当町の各学校でもこうした取り組みにより、障害者教育に生かす考えはないか。

**教育長** 児童が、積極的に自分たちでポランティア活動したことは、我々大人も見習わなければならない。  
こういう取り組みが、家庭でも、地域でもさらに充実できれば良い。  
校長会等でも学校の協力を依頼したい。

**問** 町としても高齢化社会を迎える中、また財政的に厳しい折、お金を掛けないで、簡単にすぐ始

## フルタブを集めて

められることであり、自主的に区長会などを通じて広げられると思うが。  
**町長** 今後皆さんにお願いしたいと思う。

## 小児救急医療の現状

**問** 小児科医不足は当地方でも同様であり、日高病院では、夜10時以降救急対応ができなくなり、和歌山市へ1時間掛け行かなければならず、親の不安は広がるばかりであり、何とかならないかとの声を聞く。  
**町長** 町長の考えはどうか。  
**町長** 現在のところ、最も整った医療体制だと考えている。

**問** 日高病院に対して、当町から平成14年から平成18年の5年間で合計2億3千万円という負担を出している。もう少し頑張ってもらいたい。  
**町長** 日高病院と協力し、住民が安心して医療が受けられるよう頑張る。

# 委員会レポート

## 産業教育常任委員会

### 子供の目線で 防災教育!!

委員会は、去る2月13日  
日広川町の「稲むらの火の館」(濱口悟陵記念館・津波防災センター)を視察した。  
防災体験室では津波シミュレーションを始め、復旧、予防、応急の各ゾーンや3D津波映像シアターでは、津波の恐怖を体感した。  
濱口悟陵は、安政地震の津波襲来時、稲むらに火を放ち、村人を避難誘導し、多くの命を救ったばかりではなく、その後、



「稲むらの火の館」にて

壊滅状態の村を私財をなげうって、救済するとともに、今後、永久に村人の安全と幸福を図るため、巨万の費用をもって、広村大堤防を築いている。  
また、人材育成、教育の貢献としても、現在の耐久中学校・高校の前身となる私塾を開設するなど、知行合一の精神をも

つて経世済民を貫いた偉大な功績を残している。今後の防災教育については、子供たちにも、子供の目線に立った防災教育の必要さと、濱口悟陵の偉大な功績と教訓を生かした道徳教育の大切さを委員一同、痛感したところであります。  
なお、広川町の小中学校では、防災教育の中で濱口悟陵を取り上げ、道徳の資料としても活用されているとのことでした。

# 意見書

## 道路特定財源の

### 確保を

道路は、社会資本生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な利便、安心・安全な施設であり、地域の活性化にとって必要不可欠である。

現在、地方においては、高速道路など主要な幹線道路のネットワーク形成をはじめ、防災対策、通学路の整備や救急医療など住民生活に欠かすことのできない道路整備を鋭意行っている。

また、橋梁やトンネルなどの道路施設の老朽化が進んでおり、その維持管理も行われなければならず、その費用も年々増大している。

こうしたなか、現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方においては約9千億円の税収等の減が生じ、更に地方道路整備臨時交付金



制度も廃止された場合には、1兆6千億円規模の大幅な減収が生じ、地方の道路財源が深刻な事態に陥るばかりか、危機的状況にある地方財政運営に深刻な影響を及ぼしかねないことにもなる。

現行の道路特定財源の暫定税率及び地方道路整備臨時交付金制度を堅持し、関連法案を年度内に成立させるよう強く要望する。

### 一 発議者 一

- 楠 新一
- 玉置 正之
- 金崎 昭仁
- 清水 正巳
- 天満 滋明
- 山本 善啓
- 山本 源昭
- 市ノ瀬 進
- 松本 秀司

賛成多数で可決し、国へ提出した。

# 委員会レポート

## 総務福祉常任委員会

### 個々に防災意識をより強く持つことが大事。



防災センター屋上のヘリポート

総務福祉常任委員会は、去る2月6日に、平成19年9月11日に運用を開始した和歌山県防災センターと日高広域消防本部を視察した。

今後30年以内には40〜50%の確率で発生するとされている東南海・南海地震の被害を最小限にするには自助・共助・公助が相互に連携しあう社会（防災協働社会）の構築を目指す。

県民一人ひとりが大災害の威力を知り、考え、気持ちの中で「防災」に、よりウエートを置くことから始める。

そして、身近なところから、今すぐにできることから始めていく。

例えば、家具等に転倒防止金具を設置する。

寝室を一番安全なところを作り、あまり物を置かない。

非常用の食料品を事前に準備しておく。

そして費用は必要になるが、住宅の耐震化をすること。

など取り組むことで身の安全を確保する。

「自分のことは自分で守る」が基本の姿勢である。

一人ひとりの地道な取

り組み、各地区においての自主防災組織の立ち上げ、定期的な活動等が災害に強い町を作る。

消防団、自主防災組織が初期消火をどれだけできるかで、被害を最小限に抑えられることから、日高町も各地区の自主防災組織の立ち上げに努力をすべきと意見をまとめた。

日高広域消防本部では、司令室で緊急時の連絡体制について、説明を聞いた。



日高広域消防本部の司令室

### 勝央町議会から視察団

2月28日、岡山県勝央町議会広報委員会の委員の皆様が、当町の議会だよりの編集方法について研修するために来町した。

住民の皆様に親しみをもって読んでいただくための工夫・編集作業の苦労話など、互いに交流し、研鑽を深めた。



### 編集後記

3月議会から一般質問がケーブルテレビで放映されるようになりましたが、議会だよりは活字で残るといふ特色を最大限に引き出して、今まで以上に皆様に親しまれるよう委員一同力を合わせ編集作業に頑張る所存でありますので、引き続きご愛読頂きますようお願い申し上げます。

よし坊